

地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な構想

岩手県

1 地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な方針

(1) 本県の産業構造等

本県は、これまで、電気機械製造業や電子部品・デバイス製造業を中心とした集積が経済成長を牽引し、県民生活の向上に大きく寄与してきたが、1990年代からの産業空洞化のもと、近年の景気の後退とも相まって地域経済は厳しい状況に置かれてきた。

このような中、本県は、北海道・東北地域で唯一自動車組立工場を有していることから、自動車関連産業への参入・取引拡大に求められる高品質、低コスト、短納期に対応できる企業を育成するため、平成15年度から「いわて自動車産業集積プロジェクト」を展開し、サプライヤー企業への従業員派遣による技術習得支援、工場建設・設備導入に対する補助などにより、地元企業の支援に取り組んでいる。

また、本県の特徴でもある農林水産業については、広い県土と多彩な自然条件に恵まれ、安全・安心な農林水産物をバランスよく生産し、我が国の「総合食料基地」としての地位を目指しているところである。

今後は、年々減少する農林水産業の産出額に歯止めをかけるとともに、消費者・市場を重視した生産・流通の取組みを強化し、市場競争力を高めることにより、本県の地域経済社会を支える基盤となる産業として確立していくことが強く求められている。

(2) 岩手県産業成長戦略

本県は、既に本格的な人口減少社会に突入し、労働力人口の減少や消費人口の減少による地域経済の縮小が懸念されているほか、加速化する経済のグローバル化や地方分権型社会の形成に向けた改革、さらには、国、地方を通じた財政環境の悪化など、社会経済環境の劇的な変化に伴い、自立的かつ構造的な変革に迫られている。

県では、このような様々な社会経済の環境変化に能動的に対応するとともに、安定的で持続的な地域経済基盤を構築していくためには、広域的な視点での産業の振興が不可欠であるとの認識のもと、力強い産業の成長を実現する指針として、平成18年11月に『産業成長戦略』を策定したところである。

この戦略の中では、自動車関連産業や基盤技術を有する中小企業の集積力を生かした「ものづくり産業」のほか、本県の豊富な農林水産物や観光資源などの岩手らしい特色ある地域資源を生かす「地域資源型産業」、さらには、我が国有数の生産力を誇り生産技術の蓄積も豊富な「農林水産業」を本県産業の成長を牽引していく産業として位置づけ、その成長に向けて経済界との緊密な連携等、官民の総力を上げて取り組んでいるところである。

(3) 地域産業資源活用促進事業の意義

平成17年度の本県の製造業全体の事業所数（従業員数4人以上）2,766事業所のうち、75%が従業員数29名以下の中小企業であり、大部分が地場企業である。

これら地場企業の多くは、規模は小さいものの、県内各地の農林水産物や鉱工業品、またその生産に係る技術を活かした事業を行っており、県内の第一次産業から第三次産業までの広範な業種の事業者等に対して、原材料調達、加工、流通・販売の面で様々な波及効果をもたらしている。

このような地域産業資源を活用した取組みは、本県の地域経済社会を支える基盤となるものであり、更に取組みを積極的に進めることは、地域経済を活性化するうえで極めて重要で意義のあることである。

(4) 地域産業資源活用促進事業の基本的な取組方針

このような進取の取組みにより、様々な成功モデルを創出していくことは、県内の地場の中小企業等に大きなシナジー効果をもたらすものであり、県としては、県内各地の様々な地域産業資源を発掘し、強力に育成していくことは本県産業の活力と今後の継続的発展にとって極めて重要なものと認識している。

上記を踏まえ、地場の中小企業等が、首都圏等の域外を中心に、地域に賦存する様々な地域産業資源を活用した事業に果敢にチャレンジできるよう、次の施策に取り組んでいく。

- ①地域産業資源の生産から加工、流通・販売までの取組みをトータルで支援
- ②産業間連携の推進
- ③国の「中小企業地域資源活用プログラム」との連携
- ④支援体制の強化

2 地域産業資源の内容

本県において、その産業資源を活用した中小企業による事業を促進する意義があると考えられる資源は以下のとおりである。

(1) 農林水産物

名称	地域産業資源に係る地域
アスパラガス	二戸市、軽米町、九戸村、一戸町
アブラナ	一関市
甘茶	九戸村
いちご	大船渡市、陸前高田市、釜石市、住田町
いわて牛	県全域
いわて短角和牛	県全域
馬	遠野市
えごま	一関市
奥州牛	奥州市
甲子柿	釜石市
牛乳	県全域
きゅうり	陸前高田市 二戸市、軽米町、九戸村、一戸町
暮坪かぶ	遠野市
桑葉	大船渡市、一関市、陸前高田市
古代米	一関市
米	県全域
雑穀	二戸市、軽米町、九戸村、一戸町 花巻市、遠野市
白いんげん	大船渡市、陸前高田市、住田町
スイカ	滝沢村
大豆	県全域
椿	大船渡市、陸前高田市
トマト	大船渡市、一関市、陸前高田市、奥州市、住田町
鶏	県全域
白金豚	花巻市

ピーマン	花巻市、奥州市
二子さといも	北上市
豚	県全域
ぶどう	花巻市、紫波町
ブルーベリー	遠野市、一関市、奥州市 二戸市
ほうれんそう	宮古市、久慈市、遠野市、釜石市、二戸市、八幡平市、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町
ホップ	遠野市
前沢牛	奥州市
麦	県全域
もち米	紫波町、矢巾町
ヤマブドウ	県全域
りんご	盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、雫石町、葛巻町、岩手町、滝沢村、紫波町、矢巾町、西和賀町、金ヶ崎町、平泉町、藤沢町、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町
レタス	二戸市、岩手町、軽米町、九戸村、一戸町
わさび	盛岡市、遠野市、大槌町、岩泉町、川井村
アカマツ	宮古市、久慈市、二戸市、葛巻町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、川井村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町
漆	盛岡市、花巻市、北上市、一関市、二戸市、八幡平市、奥州市、岩手町、滝沢村、紫波町、矢巾町、金ヶ崎町、平泉町、軽米町、九戸村、洋野町、一戸町
カラマツ	盛岡市、遠野市、二戸市、八幡平市、葛巻町、岩手町、滝沢村、住田町、岩泉町、川井村、一戸町
しいたけ	宮古市、花巻市、久慈市、遠野市、一関市、釜石市、奥州市、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、川井村、野田村、洋野町
アカモク	宮古市、釜石市、大槌町、山田町
アワビ	宮古市、大船渡市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、久慈市、普代村、野田村、洋野町
イサダ (ツノナシオキアミ)	宮古市、大船渡市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町
イワナ	遠野市 滝沢村
ウニ	宮古市、大船渡市、久慈市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村、洋野町
カキ	宮古市、大船渡市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町

コンブ	宮古市、大船渡市、久慈市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村、洋野町
サケ	宮古市、大船渡市、久慈市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村、洋野町
サバ	宮古市、大船渡市、久慈市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村、洋野町
サンマ	宮古市、大船渡市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町
チョウザメ	釜石市
ナマコ	宮古市、大船渡市、久慈市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村、洋野町
ホタテ	宮古市、大船渡市、久慈市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村、洋野町
ヤマメ	遠野市
ワカメ	宮古市、大船渡市、久慈市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村、洋野町

(2) 鉱工業品又は鉱工業品の生産に係る技術

名称	地域産業資源に係る地域
岩谷堂箆笥	盛岡市
	奥州市
浄法寺塗	盛岡市、二戸市、八幡平市、滝沢村
南部鉄器	盛岡市
	奥州市
秀衡塗	盛岡市、花巻市、一関市、奥州市、平泉町
海洋深層水	宮古市
金型	盛岡市、宮古市、花巻市、北上市、一関市、奥州市、金ヶ崎町、平泉町、山田町、岩泉町
北上コロッケ	北上市
亀甲織	雫石町
小型琴	盛岡市
琥珀	久慈市
コバルト合金	盛岡市、八幡平市、滝沢村
	北上市、遠野市、釜石市、奥州市、大槌町
酸化亜鉛	盛岡市、花巻市、北上市、二戸市、八幡平市、岩手町、滝沢村、一戸町、
地ビール類	盛岡市、花巻市、久慈市、遠野市、一関市、奥州市、葛巻町、岩手町、西和賀町、藤沢町
じゃじゃ麺	盛岡市
ジンギスカン	遠野市
団子	一関市
東山和紙	一関市
どぶろく	遠野市
	雫石町

南部煎餅	盛岡市、花巻市、二戸市、岩手町、軽米町、九戸村、一戸町
日本酒	県全域
野田塩	野田村
ホームスパン	盛岡市、花巻市
味噌	遠野市
木炭	久慈市、二戸市、葛巻町、岩泉町、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町
もち	一関市
木工品	遠野市 洋野町
盛岡冷麺	盛岡市
龍泉洞の水	岩泉町
わんこそば	盛岡市、花巻市

(3) 文化財、自然の風景地、温泉その他の地域の観光資源

名称	地域産業資源に係る地域
平泉の文化遺産	県全域
三陸鉄道	宮古市、大船渡市、久慈市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村、洋野町
神楽	花巻市、北上市、遠野市、奥州市
鹿踊	花巻市、遠野市、一関市、奥州市
チャグチャグ馬コ	盛岡市、滝沢村、矢巾町
早池峰山	花巻市、遠野市、川井村
薬師岳	花巻市、遠野市、川井村
岩手山	八幡平市、雫石町、滝沢村
鬼剣舞	北上市、奥州市
種山高原	奥州市、住田町
石割桜	盛岡市
岩洞湖	盛岡市
つなぎ温泉	盛岡市
中津川	盛岡市
姫神山	盛岡市
盛岡さんさ踊り	盛岡市
盛岡城跡	盛岡市
盛岡八幡宮祭典	盛岡市
黒森神楽	宮古市
三王岩	宮古市
浄土ヶ浜	宮古市
タラソテラピー施設	宮古市
鮭ヶ崎（鮭ヶ埼灯台）	宮古市
碁石海岸	大船渡市
イギリス海岸	花巻市

釜淵の滝	花巻市
五輪峠	花巻市
花巻温泉郷	花巻市
北上展勝地	北上市
国見山	北上市
夏油高原	北上市
河童淵	遠野市
伝承園	遠野市
遠野馬の里	遠野市
遠野ふるさと村	遠野市
遠野まつり	遠野市
とおの昔話村	遠野市
南部曲り家	遠野市
一関温泉郷	一関市
旧東北砕石工場	一関市
げいび溪	一関市
巖美溪	一関市
花と泉の公園	一関市
高田松原	陸前高田市
橋野高炉跡	釜石市
折爪岳	二戸市
金田一温泉郷	二戸市
天台寺	二戸市
馬仙峡	二戸市
ブルーベリー農園	二戸市
安比高原	八幡平市
八幡平	八幡平市
八幡平温泉郷	八幡平市
旧松尾鉱山跡地	八幡平市
焼石連峰	奥州市
網張温泉	雫石町
狼森	雫石町
鶯宿温泉	雫石町
国見温泉	雫石町
軽トラ市	雫石町
七つ森	雫石町
岩手山麓の工芸	滝沢村
鞍掛山	滝沢村
湯田温泉峡	西和賀町
安家洞	岩泉町
龍泉洞	岩泉町
北山崎	田野畑村

3 当該地域産業資源を用いて行う地域産業資源活用事業を促進することにより当該地域産業資源に係る地域の経済の活性化を推進する方策

本県では、上記の基本方針等を踏まえ、中小企業等が行う地域産業資源を活用した事業活動を促進するため、以下の支援施策を実施する。

(1) 地域産業資源の生産から加工、流通・販売までの取組みをトータルで支援

本県の特色ある地域資源を活用した食産業や観光産業を含む「地域資源型産業」を地域経済を支える産業として確立・成長させていく観点から、マーケットインの取組みや産業間の連携を強化する取組みを民間の専門家や研究機関等を活用しながら推進する。

具体的な支援策は以下のとおり。

- ①マーケットに精通している産業創造アドバイザーや食のプロフェッショナルチーム等を活用しながら、商品企画・商品開発・流通・販売プロセス等の革新を支援し、成功モデルを創出
- ②食産業や観光産業において、各種専門家を活用しながら、企業を対象に定期的に商品求評会等を実施し、商品力強化に向けた取組み・販路の開拓・企業人材の育成などを支援
- ③産学官連携による健康食品等の新規開発・販路開拓等の支援
- ④首都圏アンテナショップ等でのテスト販売の支援
- ⑤経営革新計画策定の支援
- ⑥新たな事業に取り組む中小企業等の新事業展開に対する「いわて希望ファンド」の運用益による支援
- ⑦制度融資の活用を通じて新商品の設備投資等に要する経費に係る資金調達の円滑化を支援

(2) 産業間連携の推進

岩手らしさを生かした生産・販売の差別化や、市場ニーズに対応した商品の高付加価値化を推進するため、農林水産業等を食品製造業や外食産業、更には観光産業といった関連産業との連携の中で強化し、新しいビジネス展開につなげる。

具体的な支援策は以下のとおり。

- ①産業間連携の基盤となるネットワーク形成のための支援
- ②産業間連携による新しいビジネスモデルの展開のためのコーディネート支援
- ③成功モデルの創出と情報発信

(3) 国の「中小企業地域資源活用プログラム」との連携

国が実施する「中小企業地域資源活用プログラム」(域外市場を狙った新商品開発・事業化に対する支援)の各事業と密接に連携し、一体的に中小企業等の地域産業資源活用事業を支援する。

具体的な支援策は以下のとおり。

- ①法第6条に規定された「地域産業資源活用事業計画」の作成支援
- ②将来的な国の認定を目指す事業に対する予備的な試作品開発、テストマーケティング支援

(参考)

国の「中小企業地域資源活用プログラム」における支援施策

[法第6条の事業計画認定が要件となる支援策]

- ・ 地域資源活用売れる商品づくり支援補助金
- ・ 政府系金融機関による低利融資
- ・ 信用保証協会の債務保証枠の拡大
- ・ 設備投資減税 等

[その他の支援策]

- ・ 市場指向型ハンズオン支援事業
- ・ 地域資源活用型研究開発事業
- ・ JAPAN ブランド育成支援事業
- ・ 地域中小企業応援ファンド 等

(4) 支援体制の強化

本県では、上記支援施策の円滑な実施のため、地域産業振興、農林水産業振興、観光産業振興、地域振興を所管する県の各部局、更には、県の広域振興局、地方振興局との連携を密にしながら、各々が保有する情報、ノウハウなどを結集し、中小企業等が効果的に地域産業資源を活用した事業を展開できるよう、施策の効率的な運用を図る。

また、市町村をはじめ、公設試験研究機関や商工団体、財団法人いわて産業振興センター等の関係団体と連携し、それぞれの支援施策の協力による相乗効果の増大を図るとともに、情報収集、中小企業等への情報提供を行う。

4 基本構想の見直しについて

本基本構想については、中小企業者による地域産業資源の活用実態や新たな地域産業資源に関する研究開発等を踏まえ、必要に応じ見直しを行う。